



PDA 即興型英語ディベート関西交流大会 2025

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2025 年 8 月 23 日（土）13:00-17:00

会場：大阪府立北野高等学校

参加者：生徒 38 名（大阪府立北野高等学校、京都市立堀川高等学校、兵庫県立神戸高等学校、奈良県立奈良高等学校、滋賀県立彦根東高等学校、滋賀県立膳所高等学校）

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、九州大学、大阪大学、京都府立医科大学、大阪府立北野高等学校、兵庫県立神戸高等学校）

コロナ禍が明けてから初めてとなる完全対面の即興型英語ディベート関西交流大会 2025 が、大阪府立北野高等学校にて開催されました。はじめに、PDA 代表理事の中川智皓より「皆さん自身がどのような世界を作るべきか、どのような倫理観を持つべきか。生身の人間を相手に思いを馳せ、しっかりと考える力を磨くことが重要です。頑張ってください。」とエールが送られました。続いて、大阪府立北野高等学校の浅田校長先生からは「人と人が直接顔を合わせて話すことで、コミュニケーションは一層深まります。ぜひ友達を作って帰ってください。」とご挨拶がありました。浅田先生の「何人と友達になる？」という問いかけに「全員！」と答える生徒もあり、ディベートだけでなく交流面でも大いに盛り上がりしました。その後は参加校の紹介です。高校名が読み上げられると、生徒たちは息を合わせて校訓をジェスチャーと共に叫び、意気込みをアピールしました。ルール確認の時間には、毎年恒例となっている POI（Point of Information: ディベート中の質問）の練習も行われ、元氣よく POI のポーズに取り組みました。



浅田校長先生の挨拶



参加校紹介の様子



POI 練習の様子

1 ラウンド目の論題は、“**After-school club activities in schools should be abolished.** (学校における放課後のクラブ活動は廃止すべきである。)”でした。肯定側は、教員の負担が大きくプライベートの時間が著しく削られてしまう問題や、授業準備に割く時間が確保できなくなることによる教育への影響について述べ、さらにニュースでも取り上げられている野球部内でのいじめ問題など具体的な事例を挙げながら、いじめの起こりやすさにも言及しました。否定側は、クラブ活動でしか得られない学びや人間関係があること、またクラブ活動が将来に直結する人にとって特に重要であることなどを述べました。ディベート後は握手を交わし、学年や普段のディベート・英語学習への取り組み、所属している部活動などについて語り合い、交流を深めました。



握手の様子：彦根東 A VS 北野 A



握手の様子：神戸 VS 北野 C

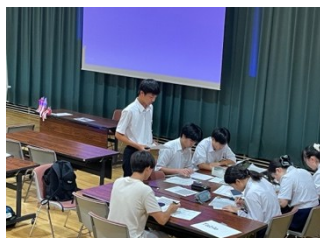


交互に立って握手：膳所 A VS 彦根東 B



握手の様子：堀川 A VS 膳所 B

続く 2 ラウンド目の論題は “**Fast fashion brings more harm than good.** (ファストファッションは、利益よりも害をもたらす。)”でした。大量生産・大量消費される服をめぐって、環境問題や経済的な観点から議論が交わされました。POI も活発に行われ、ファストファッションの定義やその実態、廃棄とリサイクルをめぐると問題などについて質疑応答を通して議論が深められていきました。



膳所 B VS 奈良 A



北野 C VS 彦根東 A



奈良 B VS 堀川 A



POIの様子：彦根東 B VS 北野 B



POIの様子：北野 A VS 膳所 A



POIの様子：堀川 B VS 神戸



握手の様子：膳所 B VS 奈良 A



握手の様子：彦根東 B VS 北野 B



握手の様子：北野 A VS 膳所 A

2回の実践を終えると、代表生徒によるエキシビションディベートです。論題は、“**Single-use plastic products should be banned.** (使い捨てプラスチック製品は禁止されるべきだ。)”でした。ときには POI で質疑応答を交えつつ、環境への影響の有無を中心にディベートが行われました。生徒による挙手投票では肯定・否定がほとんど同数となりましたが、PDA ジャッジの投票により肯定側の勝利となりました。最後に、大阪府立北野高等学校の浅田校長先生から「友達はできましたか？高校生活を楽しみながら学んでほしいです。今日はそういう機会になったのではないのでしょうか。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。」との労いのお言葉があり、2025 年の関西交流大会は幕を閉じました。



エキシビションディベートの様子



ディベート後の握手

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・PM	神戸高校	秋田 真歩さん
・LO	奈良高校	堀 弘世唯さん
・MG	彦根東高校	西村 菜花さん
・MO	北野高校	上田 志織さん
・LOR	膳所高校	小林 百花さん
・PMR	堀川高校	戴 海馨童さん



〈ベストディベータ賞〉★は2回選ばれた生徒

_____さん（膳所 A） ★	_____さん（奈良 A）
_____さん（北野 A） ★	_____さん（神戸）
_____さん（奈良 B）	_____さん（神戸）
_____さん（北野 C）	_____さん（堀川 B）
_____さん（北野 C）	_____さん（堀川 A）
_____さん（膳所 B）	_____さん（堀川 A）
_____さん（彦根東 A）	_____さん（北野 B）
_____さん（奈良 A）	_____さん（奈良 B）



〈ベスト POI 賞〉★は 2 回選ばれた生徒

_____さん (膳所 B) ★	_____さん (奈良 A)
_____さん (膳所 A) ★	_____さん (神戸)
_____さん (奈良 B) ★	_____さん (神戸)
_____さん (北野 A) ★	_____さん (堀川 B)
_____さん (北野 C)	_____さん (堀川 B)
_____さん (彦根東 B)	_____さん (堀川 B)
_____さん (彦根東 B)	_____さん (堀川 A)
_____さん (彦根東 A)	_____さん (堀川 A)
_____さん (彦根東 A)	_____さん (北野 B)
_____さん (奈良 A)	



〈チーム賞〉

1 位	北野高校 A チーム
2 位	奈良高校 B チーム
3 位	神戸高校
4 位	北野高校 C チーム
5 位	奈良高校 A チーム



1 位 北野高校 A チーム



2 位 奈良高校 B チーム



3 位 神戸高校

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベートだけでなく、対戦高と感想なども言い合えたのが楽しかったです！対面ならではの良さというか、充実した1日となりました！今日の経験を、この先に生かして、もっと堂々と発言して生きていきたいです。（北野高校）
- ・同じチームのメンバーと意見を出し合ってディベートできたので楽しかった。（北野高校）
- ・学校でもっとたくさん練習して知識をつけて、冬にリベンジする。（堀川高校）
- ・楽しかった。（堀川高校）
- ・初めてのディベートの大会だったので、とても新鮮だった。また、ディベートに慣れることができた。（神戸高校）
- ・自分の言いたいことをうまく言語化するのは難しく、もどかしい思いもしましたが、去年参加させて頂いた時よりは論理の説得力が増したかなと思いました。ジャッジの方に気軽に質問できる雰囲気です。沢山のことを学ぶことができて良かったです。（神戸高校）
- ・すごいディベートを何回も聴くことができて楽しかったし、自分もディベートを頑張ろうと思いました。（奈良高校）
- ・スピーチのレベルが全部高くて驚いた。今後に活かせるような学びがたくさんあった。（奈良高校）
- ・「うわー！すごい！この考えは思いつかなかったわ」と思うことが多く、これから学校でディベートをするときに使いたいなと思いました（奈良高校）
- ・練習の成果を発揮できた達成感を得ることができた機会になりました。（奈良高校）
- ・先輩がかっこよかったです！来年自分がやる時に先輩みたいにできたらいいなと思いました。（彦根東高校）
- ・エキシビションがレベル高くてびっくりした。（彦根東高校）
- ・ほんとにこの会に参加できて良かったです！（彦根東高校）
- ・楽しかったし勉強になった。（膳所高校）
- ・他校のディベートを実際に見て、自分も真似したいな、と思えることが沢山あったので、参加して良かったと思います。（膳所高校）
- ・各校のディベーターたちの熱い対戦が大変興味深く、感心させられるものでした。ジャッジの方のコメントも、生徒の意欲を掻き立てるもので、ありがたく思いました。沢山の気づきのある、素敵な時間をありがとうございました。（教員）
- ・一年たって、ディベートの技術や英語が上達したことも嬉しかったのですが、それ以上に人として成長した生徒たちの様子が見れて感無量です。今日、生徒たちも自分たちでは考えもつかなかったアイデアを持っている人が他校にいてとても良い刺激になったと喜んでいました。改めて、ディベートの可能性を感じた一日でした。（教員）